

「大竹伸朗展 網膜」追加関連プログラムのお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



「大竹伸朗展 網膜」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館での展示風景

大竹伸朗展 網膜
2025年8月1日(金)～11月24日(月)

展覧会名
会期
休館日
会場

大竹伸朗展 網膜

2025年8月1日(金)～11月24日(月・休)

月曜日(ただし9月15日、10月13日、11月3日、11月24日は開館)、9月16日(火)、10月14日(火)、11月4日(火)

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C、2階展示室A、1階エントランス

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 / 公益財団法人ミモカ美術振興財団

担当キュレーター：中田耕市、古野華奈子、松村円

プログラム担当：島田里都子、神山結衣 広報担当：佐伯美帆、谷村無生

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

TEL 0877-24-7755 FAX 0877-24-7766

E-MAIL press@mimoca.jp URL www.mimoca.jp

—— 関連プログラム

大竹伸朗『絵の音』刊行記念

大竹伸朗 × 矢野優 対談とサイン会

大竹伸朗の新刊『絵の音』(新潮社刊)の発売を記念して、対談イベントとサイン会を開催いたします。

『ナニカトナニカ』から7年一。大竹が文芸誌『新潮』(新潮社)に21年間毎月綴り続けたエッセイ、その集大成となる完結編『絵の音』が8月27日(水)に刊行されます。今回の刊行記念イベントでは、2003年に『新潮』編集長に就任し、2004年から約20年にわたって大竹の連載に伴走してきた担当編集者・矢野優氏を迎え、大竹の言葉と作品の深層に迫ります。さらに、対談終了後には大竹によるサイン会も開催します。

登壇者：大竹伸朗(出品作家)、矢野優(編集者)

日時：2025年9月20日(土)

対談 14:00 - 16:00(開場13:30)

サイン会 16:00 - 17:00(予定)

※サイン会は、対談を聴講いただいた方のみご参加いただけます。

※サインは、当館ミュージアムショップまたは当日開設する会場前特設売場で購入した『絵の音』に限らせていただきます。

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2階ミュージアムホール

料金：無料

定員：150名(当日11:00より会場前にて整理券を発行します)

※整理券は1名につき1枚まで

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト実行委員会(事務局：公益財団法人 福武財団)、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

共催：新潮社

協力：一般財団法人 大竹伸朗アーカイブ

登壇者プロフィール

大竹伸朗(おおたけ しんろう)

1955年東京都生まれ。主な個展に東京国立近代美術館／愛媛県美術館／富山県美術館(2022-23)、熊本市現代美術館／水戸芸術館現代美術ギャラリー(2019)、パラソルユニット現代美術財団(2014)、高松市美術館(2013)、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(2013)、アートソングセンター(2012)、広島市現代美術館／福岡市美術館(2007)、東京都現代美術館(2006)など。またハワイ・トリエンナーレ(2022)、アジア・パシフィック・トリエンナーレ(2018)、横浜トリエンナーレ(2014)、ヴェネチア・ビエンナーレ(2013)、ドクメンタ(2012)、光州ビエンナーレ(2010)、瀬戸内国際芸術祭(2010、13、16、19、22)など多数の国際展に参加。また「アゲインスト・ネイチャー」(1989)、「キャビネット・オブ・サインズ」(1991)など歴史的に重要な展覧会にも多く参加している。なお香川県内では、直島、豊島、女木島(女木島は瀬戸芸会期中のみ)で作品を公開している。



Photo by Shimpei Yamagami

矢野優(やの ゆたか)

編集者。1965年生まれ。1987年、学生時代に夜行バスで佐賀町エキジビットスペース個展へ。大竹と初対面。新潮社に入社後、大竹の初エッセイ集『既にそこにあるもの』を編集。文芸誌『新潮』編集長として、2004年から2025年の21年にわたり、大竹の毎月連載エッセイ「見えない音、聴こえない絵」を担当。最新エッセイ集『絵の音』編集を担当。



大竹伸朗展
網膜



—— 今後開催予定の関連プログラム

爆音再生ダブ平鑑賞会(仮題)

2023年に富山県美術館にて行われた《ダブ平&ニューシャネル》※1のライブ音源のLPとCD※2のリリースに合わせ、湯浅学氏(音楽評論家)を迎えたイベントを開催します。

実施日: 2025年11月1日(土)

出演者: 大竹伸朗(出品作家)、湯浅学(音楽評論家)

会場: 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C

応募方法: 9月下旬に当館WEBサイトでお知らせします。

※1 《ダブ平&ニューシャネル》とは

ダブ平は1996年にデストロイ・オール・モンスターズの来日公演でパズル・パンクス(ヤマタカEYE+大竹伸朗)が共演した際に初登場した遠隔操作無人ギタリストで、その後、新生バンドメンバーに、廃棄品の按摩器モーターと組んだ改造ベース(ボブ)、ギア・モーターによる2ndギター(エイジ)、排水用噴射ポンプ+滑車と複数のマッサージ器と連動するドラムス(アダム)を加えた「ステージー体型4人編成ロックバンド」としてパワーアップ、1999年に「時代の体温展」で“ダブ平&ニューシャネル”として登場以来、さらに無人遠隔操作メンバーを加えながら発展し、大竹音楽作品を代表する存在として知られています。

引用元: enban shop. “ダブ平&ニューシャネル+JUKE/19. 「DUB-HEI & NEW CHANELL+JUKE/19. Live area. at TAD 2023. 9.18”.

<https://enban.cart.fc2.com/ca29/4910/p-r-s/>

※2 ダブ平&ニューシャネル+JUKE/19. 「DUB-HEI & NEW CHANELL+JUKE/19. Live area. at TAD 2023. 9.18」

2023年に富山県美術館で演奏された《ダブ平&ニューシャネル》のライブ音源を、LP3枚組、CD2枚組に収録しました。8月下旬にCD2枚組、9月中旬にLP3枚組を「円盤」(URL: <https://enban-rikuro.blogspot.com/>)より発売予定です。当館ミュージアムショップでも販売します。

「大竹伸朗展 網膜」クロージング・トーク(仮題)

「大竹伸朗展 網膜」のクロージング・トークを開催します。

実施日: 2025年11月24日(月・休)

登壇者: 大竹伸朗(出品作家)

会場: 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2階ミュージアムホール

応募方法: 9月下旬に当館WEBサイトでお知らせします。

*その他のプログラムは決まり次第、当館WEBサイト等でお知らせいたします。